

令和7年度

大手町小学校の教育活動

〈教育目標〉

- 生活手段を創造し、獲得できる知恵のある子供
- 強靱で柔軟な心を持ち、温かい人間関係をつくれる子供
- 困難に打ちかつ気力・体力のある子供

共生社会をつくる子供の資質・能力

- 多様な情報を基に構成される知識や概念
- 知識や概念を活用・統合する認知能力
- 意思や感情といった非認知能力

大手町小学校では、知識や技能・考え方などを主に「コアスキル」、心のはたらきや物事に取り組む姿勢などを主に「コアマインド」として整理しました。「コアスキル」「コアマインド」がかわりながらはたらくような教育活動をつくり出します。



自信

好奇心

情熱

粘り強さ

開放

共感

「コアマインド」

論理スキル

身体スキル

創造スキル

言語スキル

「コアスキル」

◇ 身の回りの対象にかかわる課題解決に向けて活動することで、対象の本質に迫る

探究領域

◇ 教科の内容にかかわる課題解決に向けて活動することで、教科特有の考え方を身に付ける

教科領域

◇ 他者とのかかわりの中で豊かな心情を育む

ふれあい領域

学びの時間

学校・家庭・地域の同軸化

本校では、家庭・地域と学校が教育理念を共有し、愛情と信頼で貫かれた一本の軸で連携していくという意味から、三者の連携を「同軸化」と呼びます。

- 学校・家庭・地域の皆で楽しむ「スポーツフェスティバル」
- 学校・家庭・地域社会が一体となった「大手子どもまつり」
- フリーデー（自由参観日）の実施
- 子供の安全で充実した活動を支援する「学び・ささえ隊」
- 特技を生かし、子供の充実した活動を支える「ゆめ空間」
- 子供が楽しめるような活動を企画し、運営する「父親応援団」
- 主体的な PTA 活動
- 地域の子供は地域で育てる「城東地域青少年育成会議」
- 共に子供のよりよい成長を考えていく「学校運営協議会」
- 子供のための教育の振興を図り、助成活動を行う「教育振興会」
- 地域で活躍する子供を見守る「同窓会」



子供の「コアスキル」「コアマインド」を育む活動

探究…身の回りの対象にかかわる課題解決に向けて活動することで、対象の本質に迫る



教科…教科の内容にかかわる課題解決に向けて活動することで、教科特有の考え方を身に付ける



ふれあい…他者とのかかわりの中で豊かな心情を育む



行事活動…スポーツフェスティバルや大手子どもまつりなど、子供の願いによって運営します



教育活動を推進する3つの校内委員会

【研究推進委員会】

- 「共生社会をつくる子供」の育成に向けた「コアスキル」「コアマインド」をはたかせる教育課程開発
- 公開授業研修を通した「コアスキル」「コアマインド」を育む単元づくり

【生活指導委員会】

- 子供と子供、子供と教師の共感的な人間関係の育成
- 自ら判断し、行動できる子供の育成
- 家庭や地域、関係団体との連携と指導の充実
- 特別支援教育校内委員会との連携

【働き方改革委員会】

- 1ヶ月の超過勤務45時間以下、1年間の超過勤務360時間以下を目指した業務改善
- 各種休暇制度の適正な運用

令和7年度 大手町小学校グランドデザイン

「共生社会をつくる子供」が育つ教育課程の創造



令和7年度は、子供たちの生きていく社会を「共生社会」と捉え、重点目標を「共生社会をつくる子供」と設定しました。そして、「共生社会をつくる子供」に必要な資質・能力を「多様な情報を基に構成される“知識や概念”」「知識や概念を活用・統合する“認知能力”」「意思や感情といった“非認知能力”」の3つに整理し、その核となるものを「コアスキル;認知能力」「コアマインド;非認知能力」としました。本年は、これら「コアスキル」「コアマインド」を基盤とし、意図的・計画的に育成する教育課程編成に取り組めます。社会が激しく変化し、複雑さも増す今、「多様性を尊重し、自然環境との共存や自らの責任や役割を考えながら、主体的に社会にかかわっていかようとする子供」を育てていきます。

校長 藤本 高雄